



1月新着本案内

愛知みずほ大学瑞穂高等学校
瀬木学園図書館

「現代用語の基礎知識 2017」自由国民社編(031/ゲ/2017)



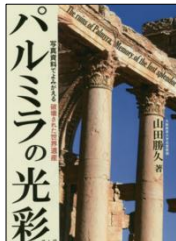
政治、国際情勢、経済、時代・流行など、知っておきたい現代用語が解説されています。「天皇の生前退位を考える」などの特集や、2016年のニュースのおさらいも掲載されています。

「悩まなくなる考え方」白取春彦著(159/シ)



考えても状況は変わらない。状況を変えるのは行動だけだ。この本は、その行動を促すために自分を内面から変えていく方法を伝授してくれます。人間関係、恋愛、家庭、健康などなど、悩み出したらキリがない！ さあ、開放されよう！

「パルミラの光彩」山田勝久著(227.5/ヤ)



2015年、過激派組織「イスラム国」(IS)によって破壊されたパルミラ遺跡。当時、博物館の館長はISが侵攻してくる直前、パルミラの神像など数百点を移送し保護した。隠し場所を言うよう尋問を受け続けたが、口を割らずISに殺された。破壊された世界遺産の、華やかな頃の姿を振りかえることが出来る写真集です。

「リヤカーマンって知ってるかい？」永瀬忠志写真と文(290.9/ナ)



19歳の時にリヤカーを引いて日本縦断を達成して以来、世界各地を歩き続けている冒険家・永瀬忠志。歩いた距離は地球一周分を越えた。35年間のリヤカー旅を写真で振り返ります。立ち止まっても、何も動かない。

「リアル世界をあきらめない」時代をつくる文化ラボ制作(304/ジ)



この世の中、ウサンくさいことばかり。おまけに、窒息しそうなほど息苦しい。だけど、社会が変わるとも思えない。本当に、そうだろうか？このリアルな現代社会の状況をどうしたら打破できるのか。基本的な問題として、様々な話題を論じています。

「えんとつと北極のシロクマ」藤原幸一写真と文(489.57/フ)



海が凍る期間が短くなっている北極。シロクマたちにとっては生きづらい環境となっている。更に、えんとつの煙から汚染物質が迫ってきて…。地球温暖化と環境問題を考える写真集です。

「世界の議事堂」アイヴァン・ハーバー編著(526.31/ハ)



国家を象徴する議事堂。歴史ある帝国から新しい国々まで、39ヶ国・45棟の議事堂や政府庁舎、官邸が収録されています。宮殿のように豪華な議事堂と現代的行政建築とのコントラストが見ものです。

「宇宙を仕事にしよう！」村沢譲著(538.9/ム)



宇宙飛行士、天文学者、JAXA職員、企業家などなど。宇宙を夢見るみんなへ先輩からのメッセージです。夢を持ったきっかけ、どんな学校に進み、どんな勉強してきたのか。また何に挫折し、どうやって乗り越えてきたのか。夢を実現するために、先輩たちが積み上げてきたリアルが満載です。

「YO!サボロー」サボロー会議編(674.3/サ)



頑張っている時に限って呼んでもないのに現れては、あらゆる方法で仕事や勉強をサボらせようとする、まっくろいキャラクター「サボロー」。頑張りすぎた現代の日本人にはもっと「サボロー」が必要。それでもサボるのはちょっと心配。という人にサボローからメッセージが。「大丈夫。これはさぼりじゃなくて、充電タイムだ」

「吹部ノート」オザワ部長著、菊池直恵画(764.6/オ)



“目指すは吹奏楽の甲子園”。厳しい練習の日々を記録した反省ノート、楽譜、寄せ書き、ミーティングノート。そこには青春のすべてをかけたドラマがある。「もしも楽器が吹奏楽部員だったら」擬人化マンガも収録されています。

「ダウン・ザ・ハイウェイ：ボブ・ディランの生涯」(767.8/デ)



アメリカが生んだもっとも偉大なアーティストのひとり、ボブ・ディラン。音楽に関する裏話、入り組んだ恋愛関係、私生活、ビジネス。徹底した取材と調査をもとに、ボブ・ディランの多くの謎と秘密が解き明かされます。

「勝つ!百人一首「競技かるた」完全マスター」岸田諭監修(798/キ)



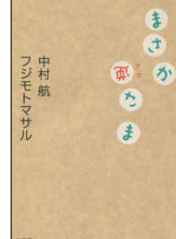
読み手に左右されない意識。お手つきを引きずらないコツ。送り札のセオリーを知る。相手に差をつける技術から競技中のメンタルまで、名人戦で3連覇を果たした著者が伝授してくれます。

「本バスめぐりん。」大崎梢著(913.6/オ)



3000冊の本を載せて種川市を走る移動図書館、愛称めぐりん。乗り込むのは、65歳の新人運転手テルさんと図書館司書のウメちゃん。2人と1台を待ち受けるのは利用者とおふしぎな謎の数々。本でつながる想いをのせて、移動図書館は今日も走る…。

「まさか逆さま」中村航、フジモトマサル著(913.6/ナ)



投稿者の回文にフジモトマサルさんがイラストを付け、中村航さんがそのイラストと回文を元に文章を書いたコラボレーション作品集です。「泣いたウミガメに女神歌いな」「満月は発言魔」

「発達障害の僕が輝ける場所をみつけられた理由」



栗原類著(916/ク)
8歳で発達障害と診断された僕が、なぜ自分の才能を生かす場所をみつけて輝けるようになったのか。同じ障害がありながら、いつも僕を信じて導いてくれた母。そしてアメリカの「発達障害」に対するおおらかな環境と、学んだ英語が自信を持たせてくれた。

「天国に行きたかったヒットマン」ヨナス・ヨナソン著(949.83/ヨ)



すぐ腕の殺し屋、ヒットマン・アンデシュが信仰に目覚め、「もう悪事はしない！」と宣言。そんなヒットマンを、仲間の女牧師とホテルの受付係がなんとか“改心”させようとするが、3人が最後に見つけた究極の幸せとは？